

令和6年度小国町商工会経営発達支援事業評価検討委員会議事録

- 1 開催日時 令和7年3月5日（水）午後3時00分～午後4時10分
- 2 開催場所 山形県西置賜郡小国町大字小国町163 小国町商工会研修室
- 3 出席者数 8名
- 4 出席者名 外部有識者
 - ・山形銀行長井支店西置賜営業部営業第一部長 早坂克己氏
 - ・山形中央信用組合小国支店長 岡田祐二氏
 - ・小国町産業振興課長 磯部俊二氏小国町商工会
 - ・会長 佐藤靖彦
 - ・副会長 阿部秀勝
 - ・副会長 高橋恭史
 - ・事務局長 高橋優美子
 - ・商工振興課長 佐藤勝則

5 議事の経過と結果

定刻に至り、高橋事務局長が令和6年度経営発達支援事業評価検討委員会の開会を告げた後、佐藤商工会長が挨拶を述べた。

次に、高橋事務局長は、座長に佐藤商工会長を指名し協議に入った。

■協議事項1 令和6年度経営発達支援事業の実施状況について

座長は、協議事項1について事務局の説明を求め、佐藤課長が事業評価書に基づき説明した。

■協議事項2 各事業の評価・検証について

座長は、今年度の取り組みについて事業項目ごとに質疑を求めた。各委員からの評価等については次のとおりである。

<事業項目1 地域の経済動向調査に関すること>

磯部委員は、地域経済において特に商業環境が厳しい状況と捉えており、町外への買物流出、地域量販店や外販の競合、ネット通販などの消費動向を受けて分析機会が必要と感じていると述べ、町の施策を検討する上でデータ収集分析が可能かについて質問した。

また、早坂委員は、地域課題や時代に合わせた分析が必要であると意見を述べた。

佐藤課長は、地域動向として県の買物動向調査や商業統計などから収集可能であるとし、国のビッグデータと共に、町の施策に反映できるよう分析機会をつくりたいと答弁し理解を得た。

その他は特になく、当該事業に係る実績結果について評価を得た。

<事業項目2 需要動向調査に関すること>

岡田委員は、ニーズ調査の成果にある事業者へのフィードバックにあたり、支援効果について質問した。

佐藤課長は、キャッシュレスキャンペーンを通じて、特に町外から買物客の流入が想像以上にあり事業戦略の可能性が見えた点と、デジタル化に不安視する事業者に寄り添って運用支援に奔走した結果、自信と前向きな姿勢に触れ、次節キャンペーンへの参加意向が8割強に及んだ点を説明し理解を得た。

その他は特になく、当該事業に係る実績結果について評価を得た。

＜事業項目3 経営状況の分析＞

磯部委員は、分析先12者の業種区分について質問した。

佐藤課長は、業種別に製造業1者、建設業2者、飲食業3者、サービス業6者であったと説明し理解を得た。

阿部委員は、分析ツールの詳細について質問した。

佐藤課長は、国の推奨するローカルベンチマークが有効であるが、事業者によって使い分けしており、SWOT分析、ABC分析、イノベーションマトリックスシートなどを取り入れていると答弁し理解を得た。

早坂委員は、12者の分析を踏まえ内容充実に努めてほしいと意見を述べた。

佐藤課長は、マンパワー不足ではあるが地道に取り組んでいると答弁し理解を得た。

その他は特になく、当該事業に係る実績結果について評価を得た。

＜事業項目4 事業計画策定支援に関すること＞

岡田委員は、小規模事業者の中でも、特に小売店の業況が厳しいことから支援成果に期待しているとし、中でも事業承継が大きな課題にあるため、国等のマッチング制度を活用し連携した取り組みに期待すると意見を述べた。

佐藤課長は、現在、日本公庫のマッチング支援や県の事業引継ぎ支援センターと連携しており、今後も認定支援機関の利点をPRし普及していきたいと答弁し理解を得た。

その他は特になく、当該事業に係る実績結果について評価を得た。

＜事業項目5 事業計画策定後の実施支援に関すること＞

佐藤委員は、売上増加又は利益率増加先の5者について、継続的な経営改善に結びついたかどうかについて質問した。

佐藤課長は、支援成果として原材料高騰等の影響で価格転嫁を講じたこと、販売促進で訴求を図ったことの実績を説明し理解を得た。

早坂委員は、価格転嫁できていない事業者が散見されるため、今後も成果ある経営指導を望むと意見を述べた。

阿部委員は、ビジネスプランを策定しPDCAを回す重要性も分かっているが、当業界も人手不足等が課題で現実的な難しさがあるとし、業界ごとに目を向けた支援も検討いただきたいと意見を述べた。

佐藤課長は、経営指導のやり方を工夫し対応していきたいと答弁し理解を得た。

その他は特になく、当該事業に係る実績結果について評価を得た。

＜事業項目6 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること＞

佐藤委員は、展示会支援が見送りになった経過等について質問があった。

佐藤課長は、以前、首都圏等の展示会に複数で参加していたが、コロナ禍を境に見送りとなっているとし、事業者側が二の足を踏んでいる現状もあり地域総合商社との連携を視野に底上げを図りたいと答弁し理解を得た。

磯部委員は、ECサイトを活用する製造業の成果内容について質問した。

佐藤課長は、具体的に製造販売業であるとし、卸部門の他、小売部門で需要を高めECサイトの売上を伸ばしている状況を説明し理解を得た。

早坂委員は、SNS活用でGoogleビジネスプロフィール支援は有効であるため、引き続き活用促進に取り組んでほしいと意見を述べた。

その他は特になく、当該事業に係る実績結果について評価を得た。

＜事業項目7 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること＞

佐藤委員は、本事業の取り組みが小規模事業者に周知されているかについて質問した。

佐藤課長は、評価書と評価検討内容について当会ホームページで公表しており、過去に提案を受けた検証の一つとしてホームページのアクセス数管理を継続しているとし、増加傾向のもと会報とリンクさせている成果と説明した。また、浸透面では不十分と捉えているため、巡回窓口相談でフォローしていきたいと答弁し理解を得た。

高橋委員は、支援事例を紹介しながらアピールしてみてもどうかと意見を述べた。
佐藤課長は、会報などを通して参考意見を検討してみたいと答弁し理解を得た。
その他は特になく、当該事業に係る実績結果について評価を得た。

<事業項目 8 経営指導員等の資質向上等に関する事>

佐藤委員は、経営指導員 1 人区の中、広域連携でカバーしている部分もあると思うが、毎年経営指導事例発表会をもとにスキル向上に努めていただきたいと意見を述べた。
佐藤課長は、当西置賜ブロックチームが過去 5 回東北大会に出場、うち 2 回が全国大会を経験してモチベーションとなっており、今後も励みたいと答弁し理解を得た。
その他は特になく、当該事業に係る実績結果について評価を得た。

<事業項目 9 他支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関する事>

磯部委員は、本取り組み項目以降、目標が連携強化という抽象的な表記であるが、設定上の観点からあらためて伺いたいと質問した。
佐藤課長は、ガイドラインに沿った目標設定で認定されており、その点を承知しながら実績には数値化したものを記載していると答弁し理解を得た。
その他は特になく、当該事業に係る実績結果について評価を得た。

<事業項目 10 地域経済の活性化に資する取り組み>

早坂委員は、地域経済の活性化において、何を取り組むにも事業承継対策が喫緊の課題と捉えているとし、商工会を起点に関係機関として連携を深めたいと意見を述べた。
磯部委員は、事業承継問題は行政施策を検討する上でも課題と捉えているとし、マッチングにプラスアルファで当町の自然環境 P R や空き家対策などを切り口として検討したいと意見を述べた。
佐藤課長は、商工会だけで完結できない大きな問題であり、金融をはじめ商工行政等の関係機関には是非お力添えを賜りたいと答弁し理解を得た。
その他は特になく、当該事業に係る実績結果について評価を得た。

座長は、すべての評価が終了したことを告げ、午後 4 時 10 分に閉会した。